

歴史能力検定 第42回 (2023 年)

2 級—日本史 解答・解説

1—②	2—④	3—④	4—③	5—③
6—④	7—③	8—①	9—③	10—①
11—④	12—②	13—③	14—①	15—③
16—②	17—③	18—①	19—②	20—④
21—②	22—①	23—②・③	24—②	25—④
26—①	27—①	28—③	29—②	30—①
31—②	32—③	33—③	34—③	35—②
36—①	37—④	38—②	39—②	40—③
41—③	42—③	43—②	44—②	45—①
46—高松塚古墳	47—成功	48—小石川養生所		
49—佐久間象山	50—張作霖			

1

- ②が長野県の和田峠。①は北海道の白滝、③は東京都の神津島、④は大分県の姫島で、いずれも黒曜石の産地。
- I『漢書』地理志の紀元前1世紀の記事。III『後漢書』東夷伝の57年の記事。II『魏志』倭人伝の239年の記事。
- ④追葬が可能なのは竪穴式石室ではなく横穴式石室。
- ①冠位十二階では、徳・仁・礼・信・義・智の6種がそれぞれ大小にわけられて12階とされた。真人は八色の姓で最上位とされた姓。②大海人皇子は飛鳥浄御原宮で天武天皇として即位した。④7世紀後半に鑄造されたのは富本銭。和同開珎は8世紀の708年に鑄造された。
- 設問に用いたのは白鳳文化期の絵画である高松塚古墳壁画。
- ①旻は遣隋使に同行した学問僧、②小野妹子は遣隋使、④粟田真人は702年に派遣された遣唐使。
- 八省は①中務省・式部省・治部省・民部省・兵部省・刑部省・②大蔵省・③宮内省の各省。④外務省は明治政府のもと、1869年、版籍奉還後に設けられた。
- ①興福寺仏頭は白鳳文化期、②神護寺両界曼荼羅は弘仁・貞観文化期、④法隆寺玉虫厨子は飛鳥文化期の文化財。
- ②三世一身法は、元正天皇の時代の723年に出された。③醍醐天皇の時代の902年に出された延喜の荘園整理令が最初の荘園整理令。④勘解由使は、桓武天皇の時代の797年頃に設置された。
- ①水干は庶民男性の実用服。②直垂は武士の服装。④小桂は女性の衣服である桂を小形に仕立てたもの。

2

- ②円勝寺は鳥羽天皇の皇后である待賢門院、③尊勝寺は堀河天皇、④最勝寺は鳥羽天皇によって建てられた。
- ①白河上皇の時代に北面の武士、後鳥羽上皇の時代に西面の武士が設けられた。②長講堂領は後白河上皇が持仏堂の長講堂に寄進した荘園群。③崇徳上皇は保元の乱で敗れた後に讃岐に流された。
- 平安時代中期以降には、売位・売官の風潮が広まり、私財を出して朝廷の儀式や寺社造営などを請け負い、その見返りとして官職や位階を受ける成功、任期満了後も成功によって同じ官職に再任してもらう重任が多くみられた。
- III「当時の将軍が、鶴岡八幡宮で、甥にあたる人物によって殺害された」のは13世紀。将軍は鎌倉幕府の3代将軍源実朝。II「強圧的な政治をおこなっていた将軍が、有力守護の赤松満祐によって殺害された」のは15世紀。将軍は室町幕府の6代将軍足利義教。I「将軍権威の復興をめざしたことで知られる将軍が、松永久秀に襲われて討死した」のは16世紀。将軍は室町幕府の13代将軍足利義輝。
- ③「サイモクノコト」とあるように、この荘園の年貢は材木であった。①「チトウ」とあるように、地頭を訴えるものであるため「守護」は誤り。②引用した史料は1275年の紀伊国阿比河荘民の訴状であるため「14世紀」は誤り。④史料は高野山文書からの引用。『玉葉』は鎌倉時代初期の公卿である九条兼実の日記。
- ②吉田兼俱は室町時代に唯一神道を創始した。③卜部兼方は鎌倉時代に『釈日本紀』を著した神道家。④竹内式部

は江戸時代に宝暦事件などで処罰された神道家。

15. ①『小右記』は藤原実資、②『中右記』は藤原宗忠、
④『御堂関白記』は藤原道長の日記。
16. 後鳥羽上皇が承久の乱後に配流されたのは②の隠岐。
①は佐渡、③は対馬、④は壱岐。
17. ③寿福寺は、京都五山ではなく鎌倉五山の第三位。
18. ②大和の今井や④河内の富田林は寺内町。③坂本は延暦寺の門前町。

3

19. ①太閤検地では1段=360歩が1段=300歩へと変更された。③京都の方広寺が正しい。増上寺は江戸の寺院。④刀狩令は1588年に出された。文禄の役は1592~93年。
20. I「五百石以上ノ船停止ノ事」の条文を含む武家諸法度は1635年に徳川家光によって出された寛永令。III諸宗寺院法度は1665年に出された。II『御触書寛保集成』は、享保の改革の一環として編纂され、1744年に完成した。
21. ②目付は若年寄支配。①道中奉行は老中支配。③寺社奉行と④大老は將軍直属。
22. 江戸時代初期、諸藩では有力武士に領地を与え、その領民支配を認める①地方知行制をとる場合が多かったが、年貢を蔵米として支給する③俸禄制度がとられるようになった。②商場知行制や④場所請負制度は松前藩でとられた。
23. ②赤穂事件は、赤穂藩士ではなく赤穂浪士がおこした。
③赤穂事件は1702年に発生した。公事方御定書は1742年に完成した。
24. ①吉田光由は『塵劫記』を著した。『発微算法』は関孝和の著書。③本阿弥光悦は寛永文化期に活躍した。その代表作は「舟橋蒔絵硯箱」。「八橋蒔絵螺鈿硯箱」は尾形光琳の作品。④俵屋宗達は寛永文化期に活躍した。その代表作は『風神雷神図屏風』。『紅白梅図屏風』は尾形光琳の作品。
25. ④正徳の政治の一環として、閑院宮家が創設された。
48. 小石川養生所は、享保の改革時に設けられた。
26. ①中江藤樹は17世紀に活躍した陽明学者。
27. 間宮林蔵が島であることを発見したのは①の樺太。②は択捉島、③は国後島、④は利尻島。

4

49. 佐久間象山は、信濃の松代藩士で幕末の開国論者。
28. ③はペリーと江戸幕府との間で1854年に締結された日米和親条約の一部で、最恵国待遇の規定。①は1917年に締結された石井・ランシング協定の一部。②④は1858年に締結された日米修好通商条約の一部で、それぞれ協定関税制、領事裁判権についての規定。
29. ①石川達三は日中戦争時の兵士の実態を『生きてゐる兵隊』で描写し、同書は発禁処分を受けた。③小林多喜二はプロレタリア文学の代表作『蟹工船』の著者。④津田左右吉は歴史学者。1940年、著書の『神代史の研究』などが発禁処分とされた。

30. I「五箇条の誓文が公布された」のは1868年。II「大久保利通が新設された内務省の長官となった」のは1873年。
III「西郷隆盛を首領とする士族反乱」である西南戦争が発生したのは1877年。
31. ①坂本龍馬は土佐藩の郷土出身。③勝海舟と④榎本武揚は幕臣。
32. ①鎮台から師団に改められた。②加藤高明内閣の陸軍大臣宇垣一成は、1920年代に宇垣軍縮と呼ばれる軍縮に取り組んだ。④第2次山県有朋内閣時に制定されたのは治安警察法。
33. ①白鳥庫吉は東洋史学者。②田口卯吉は史学者・経済学者。④柳田国男は民俗学者。
34. ①ベルリン大学のグナイストに学んだ。フランス人ボアソナードは民法などを起草した。②元老院ではなく枢密院が正しい。④立憲同志会ではなく立憲政友会が正しい。
35. ①『坊っちゃん』は夏目漱石、③『破戒』は島崎藤村、④『みだれ髪』は与謝野晶子の作品。
36. 内相品川弥二郎は第二議会解散後、選挙干渉を主導した。第六議会は1894年に開催された。品川弥二郎らは1892年に国民協会を結成した。立憲民政党は1927年に結成された。

5

37. ④『国民之友』を創刊したのは徳富蘇峰。幸徳秋水・堺利彦らは、平民社をおこし『平民新聞』で非戦論・反戦論を唱えた。
38. ①片山東熊は「旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）」を設計した建築家。③荻原守衛と④高村光雲は彫刻家。
39. ②横山源之助の著書は『日本之下層社会』。
40. IIは1875年の樺太・千島交換条約、Iは1891年の大津事件の説明。IIIの第4次日露協約は1916年に締結された。
41. I日本海軍はbの海域でおこなわれた黄海海戦で北洋艦隊を撃破した。aの海域では日露戦争時に日本海海戦が展開された。II講和条約はcの下関で締結された。dは天津。
42. ①威海衛と②九龍半島はイギリス、④広州湾はフランスが租借した。
50. 昭和三（1928）年に、張作霖爆殺事件がおこった。
43. 「昭和四年」に招請状が出された翌1930年、ロンドン（海軍軍縮）会議が開催された。ジュネーヴ（海軍軍縮）会議は1927年に開催された。ワシントン会議の全権は加藤友三郎ら。小村寿太郎はポーツマス条約の全権。
44. 斎藤内閣が総辞職した後に内閣を組織したのは岡田啓介。
45. ②第五福龍丸事件は1954年におこった。第1回原水爆禁止世界大会が開催されたのは長崎ではなく広島。③1970年代ではなく1950年代末から1960年代について述べたもの。④1960年代の説明。

【写真所蔵・提供】

国（文部科学省所管） 画像提供：奈良文化財研究所（1－問5）